TOKUYAMA
トクヤマグループ

セメント系無収縮材

セメント系無収縮グラウト材

グラウトミックスH［高強度タイプ］

グラウトミックスシリーズ

グラウトミックスH［高強度タイプ］は、圧縮強度（材齢28日）80N/mm²を発現する、プレミックスタイプの高強度グラウト材です。高強度が求められている現代のニーズに対応しており、さらに下記のような特長を持つ無収縮グラウト材です。

特　長

1	**高強度**	材齢28日で80N/mm²以上の強度を発現します。
2	**無収縮**	特殊膨張材が配合してありますので、材齢経過にともなう収縮がありません。（乾燥収縮を除く）
3	**流動性**	長時間に亘り流動性を保持します。
4	**充てん**	プレキャストコンクリート等、複雑な構造体に対しても高い充てん性が得られます。
5	**ノンブリーディング**	ブリーディングがないので、硬化後の空隙が発生しません。
6	**非金属系骨材**	非金属系骨材を使用しているため、錆が発生しません。

物 性

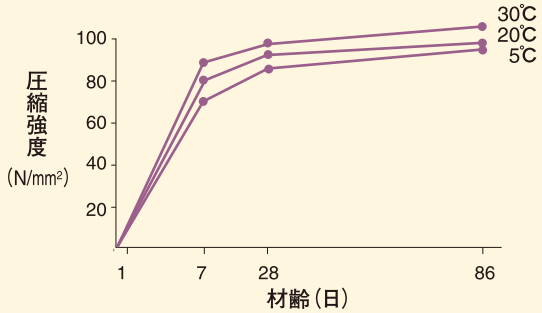
	0分	30分	60分
フロー値	290	275	258
J14 ロート	8.9	10.4	12.0

	養生温度	7日	28日	86日
一軸圧縮強度（N/mm²）	5℃	74.5	84.3	96.3
	20℃	80.6	94.6	97.9
	30℃	88.0	97.5	107.0

（試験場所：トクヤマエムテック試験室）

※試験値はあくまで測定例です。

一般圧縮強度



株式会社トクヤマ エムテック

使用方法　詳しくはグラウトミックスH[高強度タイプ]施工要領書をご覧ください。

1 下地処理

①コンクリート表面にレイタンス、汚れ、油分等があれば全て取り除き、湿潤状態に保つように水打ちを行ってください。
②打ち水が乾燥しやすい場合やコンクリートとの接着強度が重要な場合は、キープジョンの5倍希釈液を150g/m²程度塗布してください。
③型枠は、グラウトミックスHの注入（または流し込み）圧に耐えられるように強固に組み立てるとともに、漏れがないよう隙間には硬練りモルタル、または発泡ウレタンを使用してシールを施してください。

2 練り混ぜ

①練り混ぜ水量は、1袋あたり3.6～4.0ℓで調整してください。
②練り混ぜ水は、冷水・温水を用いて、練り上がり温度が10～35℃の範囲になるように調整してください。
③あらかじめ計量した水をペール缶などに入れ、グラウトミックスHを全量投入し2分間（低温時は3分間）練り混ぜてください。
④かく拌に用いるハンドミキサーの羽根は、空気の巻き込みを出来るだけ抑制するために特殊かく拌羽根をご使用ください。（写真参照）

グラウトミックスH〔高強度タイプ〕	1袋（25kg）
水量	3.6～4.0ℓ
フロー値	220～300㎜
J14ロート	10±2秒
使用量	約80袋/m³
単位容積質量	約2.3kg/ℓ

3 注入・仕上

①注入方法には流し込み、ポンプによる圧入があります。
②流し込みは片側から連続して行ない、流出側からグラウトミックスHがあふれるまで注入してください。また、ポンプによる圧入の場合は、最上部に空気抜き等を設け、確実に上面まで充てんされたことを確認してください。
③注入後、露出面の仕上げはグラウトミックスHが締まってきたころにキープジョン5倍希釈を噴霧しコテ押えをして仕上げてください。

4 養生

①表面クラックを出来るだけ防止する為、施工後は表面養生を必ず行い、急激な乾燥を避けてください。
②注入後には、振動を与えないようにしてください。

関連商材

無収縮グラウト材			断面修復材			超速硬モルタル
セメント系 無収縮グラウト材 グラウトミックス	セメント系 無収縮グラウト材[低熱タイプ] グラウトミックスL	車載プラント 供給システム 生グラウト	断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス	セメント系 断面修復材 リペアミックスJ1	断面修復用 プレミックスコンクリート リペアミックスNEXT	超速硬 高靭性モルタル オートモルスーパー

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害（呼吸器系）。
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系・腎臓）。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
【保管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。
【廃棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。
・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

⚠ 注意事項

【使用上の注意】・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気のよい場所で保管し、製造後3ヶ月までを目安に使用すること。

【カタログに関する注意事項】・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
・本カタログは2016年7月に作成しました。

株式会社トクヤマ エムテック
URL http://www.k-tokuyama.co.jp

ISO 9001 JTCCM OSCA RQ 1957 (登録範囲)http://www.jtccm.or.jp/
MS JAB CM015

本社・東日本事業部		103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5　ERVIC人形町6F TEL 03-5643-3601　FAX 03-3249-3615
中日本事業部		573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770　FAX 072-857-1125
西日本事業部	中国営業所	745-8648 山口県周南市御影町1-1（株）トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201　FAX 0834-62-7202
	九州営業所	861-0821 熊本県玉名郡南関町大字下坂下4821-1（（株）熊本硅砂鉱業内） TEL 0968-53-9201　FAX 0834-62-7202
首都圏セメント建材開発センター		299-0268 千葉県袖ケ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770　FAX 0438-60-8370

工　場 / 枚方工場（大阪）　袖ヶ浦工場（千葉）　九州製造拠点:（株）熊本硅砂鉱業（熊本）

販売店

2016.07.3000 第2版